



■発行 地域活性化団体 よかつつらみさくぼ（管理受託者）

浜松市水窪支所 生涯学習グループ・水窪図書館

■問合せ/☎（053）982-0013

■文化会館のできごと

みさくぼ祭りの写真展示を開催中 ～^{はたぎょうれつ}旗行列に寄せて～

水窪文化会館ロビーにて、みさくぼ祭りの懐かしい写真を展示しています。

かつて祭りの中で行われていた小中学生による「旗行列」に焦点を当て紹介します。

今回展示している歌詞は、確かな記録が残っていないため、地元の皆さんの記憶とご協力をもとに書き出したものです。

節の順序や漢字の表記には、記憶に基づく違いが見られる場合がありますが、歌詞の意味を丁寧に読み解きながら検証を進めました。地域の誇りや子どもたちの未来への祈りが込められた素晴らしい内容が浮かび上がってきましたのであわせてご覧ください。

展示をご覧になって、お気づきの点や情報などがありましたら、ぜひお寄せください。

皆さんの声が、地域の文化を未来へつなぐ力となります。



■文化会館からのお知らせ

文化会館ホールステージ無料開放！

○10月の開放日 毎週月曜日
(6日、20日、27日)
○時間 9時00分～17時00分

※文化会館にあるピアノの使用、ご自分の楽器を持ち込むこともできます。



星空観望会

天体観測ドームで星を観ましょう！！

○日時 10月6日(月)

○19時30分～21時00分

○会場 水窪文化会館 天体観測ドーム

見どころ 中秋の名月・土星・カシオペア座

※小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。



水窪文化祭 出演・出展者募集！！

水窪文化祭は、まちの皆さんの文化活動発表の場です。

皆さんの普段とは、ひと味違う姿や一面を楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。

この発表の場に、今年は「出演者・出展者」として参加してみませんか。

日時 【芸能発表】11月1日(土) 午後1時～4時
【作品展示】10月31日(金)～11月3日(月)

会場 水窪文化会館 【芸能発表】ホール
【作品展示】視聴覚室

対象 水窪町内に在住・在勤の方
個人・グループどちらでも参加できます。

内容 【芸能発表】歌唱、楽器演奏、踊り、ダンス、詩吟、手品、寸劇など
【作品展示】写真、絵画、書、手芸、花、盆栽、木工作など

申込 電話または直接、水窪文化会館までご連絡ください。(締め切り 10/4)

主催 よかつつらみさくぼ(水窪文化会館内)

問合せ ☎053-982-0013



■町のできごと 8月

水窪の念仏踊り、商店街にともる灯

8月23日(土)大里門前の商店街で、かつて水窪のうら盆に踊られていた「念仏踊り」が復活しました。夕暮れとともに灯りがとまり、懐かしい手踊りの音色が通りに響くと、世代を超えて多くの方が集まりました。

特にご年配の方々は、懐かしい踊りに笑顔を浮かべ若い世代もその温かい雰囲気には引き込まれていました。

昔ながらの文化と今のにぎわいが交差するこの場所で、地域の魅力を再発見する夜となりました。





8月 夏休み子ども講座



6日

夏の思い出を束ねるスワッグづくり

「水窪花の会」の皆さんを講師に迎え、ドライフラワーを使ったスワッグ作りを体験しました。
スワッグとは、花や葉を束ねて壁に飾るインテリアのことで、自由な形で季節感や個性を表現できます。子どもたちは花材に触れながら、それぞれの感性で作品を仕上げていました。



7日

藍色に染まる、夏のひととき

「水窪草木染めの会」の皆さんを講師に迎え、藍染めを体験しました。子どもたちは染めたい布にビー玉を輪ゴムで縛ったり、木枠で固定したりして模様づくりに挑戦。
染料に浸して天日にあてると、少しずつ藍色が浮かび上がり、ゴムや木枠を外すと美しい模様が現れました。
思わず歓声があがり、笑顔が広がりました。



20日

大学生とつくる工作と科学体験

静岡大学の学生講師を迎え、科学工作教室「ゆらゆら単極モーター」を開催しました。
電池と磁石を使って銅線がくるくる回る不思議な装置に、子どもたちは夢中！科学の面白さに触れると同時に、大学生との交流を通じて、学びと発見に満ちたひとときを過ごしました。



22日

自分だけの革小物をつくる

講師を招いてレザークラフト講座を開催しました。
参加者は金属性の刻印で革に模様を施し、好みの色で彩色しました。革の香りと手仕事の温もりに包まれながら、世界に一つだけのオリジナル作品を仕上げ、ものづくりの楽しさを味わいました。



28日

万華鏡に映る、光と色の世界

磐田市の「新造形創造館」に出かけ「万華鏡」を作りました。
色とりどりのガラス片を組み合わせ、自分だけの小さな宇宙をのぞき込むような作品づくりに参加者たちは夢中になりました。





蜘蛛の糸 大活字本シリーズ1

芥川 龍之介 /著

御釈迦様は極楽の蓮池のふちを、御歩きになっていらっしゃいました。この蓮池の下は、丁度地獄の底に当たって居り…。『蜘蛛の糸』をはじめ、『神神の微笑』『妖婆』など全7編の芥川龍之介の作品を大活字、読み仮名付きで収録。



雨二モマケズ 大活字本シリーズ6

宮沢 賢治/著

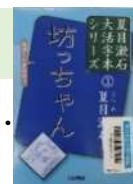
ある土曜日の夕方、一郎のうちに山猫からおかしなはがきがきた。「明日、めんどろな裁判をするから来てください」という内容だが…。『どんぐりと山猫』など、宮沢賢治の作品を大活字、読み仮名付きで収録。



坊ちゃん 大活字本シリーズ1

夏目 漱石/著

四国の中学校に数学教師として赴任した江戸っ子気質の“坊ちゃん”が、無鉄砲ながらも正義感を貫き通し…。文豪・夏目漱石が自身の経験を背景に綴った初期の代表作『坊ちゃん』を、大活字、読み仮名付きで収録する。



九十八歳。戦いやまず日は暮れず

佐藤 愛子/著

「戦いすんで日が暮れて」から52年。いまだ戦いやまず日は暮れず…。『算数バカの冒険』『小さなマスク』『釈然としない話』など、愛子節がたっぷりのエッセイを全21編収録。『女性セブン』連載を書籍化。



一〇三歳になってわかったこと 人生は一人でも面白い

篠田 桃紅/著

「いつ死んでもいい」なんて嘘。生きているかぎり、人間は未完成-。いつでも面白い、平和な心を育てる、唯我独尊に生きる…。数えて一〇三歳となった今も第一線で製作している美術家が、クリエイティブする力を明かす。



長寿脳 120歳まで健康に生きる方法

白澤 卓二/著

人が120年生きるには、何をすればいいのか？最先端の認知症治療を実践する脳のカリスマが、30年超の長寿研究から導いた、脳を若返らせ寿命を延ばす人生戦略を伝授する。



100歳まで歩ける脚づくり 病院で治す・自分でよくするシリーズ 林 泰史/著

最後まで寝たきりにならない、丈夫な脚づくりを始めましょう。歩くことによる健康なからだづくりのポイントから意外な効果、毎日続けられる歩き方のコツまでを、高齢者医療の専門医がわかりやすく解説します。



60代、不安はあるけど、今が好き

岸本 葉子/著

お金、健康…。60代の暮らしは気になることは多いけど、自分をよく知る「今」だから、不安と丁寧に向き合える-。人生のこれからを考えるエッセイ。



心ゆたかに生涯読書～本を読んでもみませんか？

『本を読むと若くなる』といわれます。読書が心の健康に役立つからです。

『本を読むと美しくなる』ともいわれます。

すぐれた本といっしょに呼吸し、心を豊かに働かせている人は、自然に目の輝きがまして、自信のある顔立ちになるのでしょう。

